

留学報告レポート

留學生活全般について、①留學目的の達成度②留學、学習、国際理解への意欲に関する留學前後の意識の変化、③今後の長期留學の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

SOAS サマープログラムでの留學生活全般について留學目的の達成度、留學、学習、国際理解への意欲に関する留學前後の意識の変化、そして今後の長期留學の意欲を含めて述べる。

まず初めに、私の渡航前の TOEIC スコアは 810 点であり、SOAS の授業で通用したが十分ではないと感じた。なぜなら TOEIC はリスニングとライティング力を測るテストであるからである。渡航前には自分の意見や物事を説明できるスピーキング力が必要であると感じた。しかし、先生も優しくサポートしてくれるので完璧に喋らなきゃなどそこまでの心配はいらない。そして、私の留學目的は 3 年前のアメリカホームステイ時の英語力と現在の英語力の比較、及び英語力の向上、また異文化理解が主な目的である。この他の目的として現地人の友人を作ることがある。結論として、SOAS サマープログラムの目的達成度は 7 割である。留學目的達成度が 7 割であるのか、まずは 3 年前の英語力と現在の英語力の比較から述べる。私の 2 年前の英語力は中学生ほどであり、特にスピーキングに関しては皆無であった。そのためホストファミリーとは翻訳機を介して意思疎通を行っていた。その頃と比べ今回の留學では一切翻訳機を使わず自分の口で自分の意見や意思を伝えることができたのは大きい成長であると 3 年前の自分と比較し感じることはできたのは大きな喜びであり、この目的は十分に達成したと感じている。また異文化理解に関しても 3 週間をイギリスで過ごすことで様々な文化に触れることができ十分達成できたと感じている。例えば店員さんがお客さんが対等でフレンドリーであることは良い文化であると感じた。日本ではお客さんは神様だと言われるが私はフレンドリーに接してもらうことの方が嬉しかった。私が達成できなかった残りの 3 割は英語力の向上である。授業を通して全体的な英語力の僅かな向上はしたが、やはり三週間という短い期間では私が期待していたほどの大幅な英語力の向上には至らなかった。しかし、今回の SOAS サマープログラムを通して英語を話すときの姿勢を知れたことや英語学習に対する意欲を向上できたこと、現地に友人を持つことができたのは自分にとってかけがえのないものとなった。

続いて、留學、学習、国際理解への意欲に関する留學前後の意識の変化について述べる。大きく留學前後で大きく変わったのは長期留學と学習に対する意欲である。留學以前から海外で英語学習はもちろん自分が興味のある専門分野に関しての勉強をしてみたいと考えていた。しかし今回の留學後、それに対する思いがさらに強くなった。留學という形ではなくともワーキングホリデーなどを通して将来海外で活躍できる人材になりたいと強く考えるようになった。なぜなら自分の英語が海外で通用し生活ができることや海外の雰囲気を感じ、自分に会っていると感じたためだ。具体的には人々の生活スタイルや周りを気にせず個性を全面に出す文化が自分にあっていた。日本では周りの目を気にして行動するが、イギリスでは一人一人が個性を尊重しあって生活していると感じた。そこが自分にあっていると感じた。国際理解に関しては留學以前から変わらず強く興味を持ち取り組んでいる。具体的には知人のアメリカ人にバイブルスタディを行ってもらっている。しかし最初の頃ロンドンで生活していて理解に苦しんだのはホームレスの多さと人々の無関心だ。ロンドンを歩けば至る所にホームレスがおりお金や食べ物を通りかかる人に求める。それに対し人々は無視をし続ける。最初、イギリス国民はホームレスに対して冷たいのだと感じていた。しかし、「ホームレスにお金をあげたらお酒やドラッグに変わるから現金はあげない方がいい。」という知人の意見を聞いて考えが変わった。確かに現金を渡す人は少ないが無料の炊き出しをしている団体を数回見かけたことがある。ホームレスに関して考える機会ができて良い経験だった。

続いて、今後の長期留學の意欲を述べる。私は 1 年間ほどの長期留學をしたいと強く切望している。しかし、経済的に難しいのが事実だ。そのため、社会人になってから留學にかかる費用を自分自身で稼ぎ一年の海外留學。もしくは海外に支店がある会社に就職し海外転勤を希望し海外勤務をする。または、お金を貯めてワーキン

グホリデーすることを選択肢として考えている。いずれにしても長期的に海外で生活する機会を人生の中で設けたい。そのためにもまずは日本でさらに英語力を向上させることが必要だ。まずは IELTS6.0 を目指して今後の英語学習を進めていきたい。

最後に、SOAS サマープログラム全体の感想を述べる。三週間という短い期間ではあったがとても有意義な時間を過ごせた。平日は授業を受け復習をし終わったら遊びに出かける。休日は友人と共に観光に少し遠くまで足を伸ばす。その中で様々な人や文化や食と出会い自分の価値観を変えるものとたくさん出会った。今後 SOAS サマープログラムに参加する人がいれば 3 週間は英語力の向上には十分な期間ではないが、現地で様々な価値観を持つ人々と出会うのには十分な期間と機会が設けられているので参加することをお勧めする。